

平成30年1月18日

日本プライムリアルティ投資法人 御中

国土交通大臣登録(2)第261号
 不動産鑑定業者
 東京都千代田区丸の内2丁目1番1号
 シービーアールイー株式会社



[不動産鑑定評価書要約]

別紙の不動産(B-9_ライズアリーナビル)に関する平成30年1月18日付(発行番号 AP-171151-1)不動産鑑定評価書の要約内容につき、下表の通りご報告いたします。

| | 内容 | 根拠等 |
|---------------------|-------------------------------------|--|
| 鑑定機関 | シービーアールイー株式会社 | |
| 鑑定評価額 | 8,500,000,000 円 | |
| 価格の種類 | 正常価格 | 本件鑑定評価は、投資採算価値を表す価格を求めるものであるが、正常価格と一致するため、求める価格は正常価格である。 |
| 試算価格調整方法 | 収益価格を採用し、積算価格からの検証を行う | |
| 価格時点 | 平成29年12月31日 | |
| 鑑定評価の方針 | 土地及び建物の価格を原価法及び収益還元法により査定 | |
| 収益価格 | 8,500,000,000 円 | |
| 調整方法 | DCF法による収益価格を重視し直接還元法による収益価格を参考にして試算 | |
| DCF法による収益価格 | 8,500,000,000 円 | |
| ①運営収益(定常化年度) | - 円 | |
| 貸室賃料収入 | - 円 | |
| 共益費収入 | - 円 | |
| 水道光熱費収入 | - 円 | |
| 駐車場収入 | - 円 | |
| その他収入 | - 円 | |
| 空室等損失 | - 円 | |
| 貸倒損失 | - 円 | |
| ②運営費用(定常化年度) | - 円 | |
| 維持管理費 | - 円 | |
| 水道光熱費 | - 円 | |
| 修繕費 | - 円 | |
| プロパティマネジメントフィー | - 円 | |
| テナント募集費用等 | - 円 | |
| 公租公課(土地) | - 円 | |
| 公租公課(建物) | - 円 | |
| 公租公課(償却資産) | - 円 | |
| 損害保険料 | - 円 | |
| その他費用 | - 円 | |
| ③運営純収益 (NOI=①-②) | 370,269,270 円 | |
| ④一時金の運用益 | - 円 | |
| ⑤資本的支出 | - 円 | |
| ⑦純収益 (NCF=③+④-⑤) | 345,526,563 円 | |
| 割引率(定常化年度) | 3.8 % | 投資家調査、取引利回り等に基づき査定 |
| 保有期間純収益現在価値 | - 円 | |
| 最終還元利回り | 4.2 % | 還元利回りをもとに10年目以降のリスク等を考慮し査定 |
| 売却予測価格 | - 円 | |
| 売却費用 | - 円 | |
| 復帰価格 | - 円 | |
| 復帰価格現在価値 | - 円 | |
| 直接還元法による収益価格 | 8,430,000,000 円 | |
| 還元利回り | 4.1 % | 投資家調査、取引利回り等に基づき査定 |
| 積算価格 | 7,180,000,000 円 | |
| 土地比率 | 68.52 % | 土地建物合計価格に対する比率を百分率で小数点第3位を四捨五入 |
| 建物比率 | 31.48 % | 土地建物合計価格に対する比率を百分率で小数点第3位を四捨五入 |

不動産の鑑定評価額は、個々の不動産鑑定士の分析に基づく、分析の時点における評価に関する意見を示したものととどまります。同じ物件について鑑定を行った場合でも、不動産鑑定士、評価方法若しくは時期によって鑑定評価額が異なる可能性があります。また、かかる鑑定の結果が、現在及び将来において当該鑑定評価額による売買を保証または約束するものではなく、不動産が将来売却される場合であっても鑑定評価額をもって売却できるとは限りません。